

IPsec 対応ブロードバンドアクセスルータ

コマンドリファレンス

FITELnet-F120

(操作編)

古河電工

目次

装置に関する操作	5
基本設定モードへ移行	5
ログイン ID の設定	6
パスワードの設定	7
トレースルートの取得	8
ping の実行	9
拡張 ping	10
装置の日付時刻の設定	12
タイムサーバ接続による時刻設定	13
telnet の実行	14
装置の再起動	15
インタフェースに関する操作	17
PPPoE の手動接続	17
PPPoE の手動切断	18
IPv6 ルーティングに関する操作	19
IPv6 近隣情報の初期化	19
IPv6 統計情報の初期化	20
IPv6 プレフィックスリストに関する情報の初期化	21
IPv6 学習フィルタリング情報の初期化	22
IPv4 ルーティングに関する操作	23
BGP セッションの初期化	23
BGP における redistribute の初期化	25
RIP における redistribute の初期化	26
DNS (キャッシュ) 情報の初期化	27
IP 統計情報の初期化	28
IPv4 学習フィルタリング情報の初期化	29
学習した IP アドレスの初期化	30
IPsec に関する操作	31
IKESA の解放	31
IPsecSA の解放	32

VPN ログ情報の初期化.....	33
VPN 統計情報の初期化.....	34
鍵ペアの生成.....	35
自身の証明書のリクエストのメッセージの作成.....	36
電子証明書の登録.....	37
電子証明書の削除.....	40
UPnP に関する操作.....	41
イベント受信情報の初期化.....	41
ポートマッピングの初期化.....	42
モバイルに関する操作.....	43
接続相手装置に発呼する.....	43
接続している相手装置の切断.....	44
ダイヤラ連続接続リミッタの初期化.....	45
発呼回数カウンタの初期化.....	46
パケット数リミッタの解除.....	47
障害監視 / 通知機能に関する操作.....	48
軽度障害情報の初期化.....	48
重度障害情報の初期化.....	49
環境障害情報の初期化.....	50
フィルタリング情報の初期化.....	51
フィルタリングカウンタの初期化.....	52
不正アクセスに関する情報の初期化.....	53
SSH サーバ機能に関する操作.....	54
ホスト固有鍵の生成.....	54
自身の固有鍵の削除.....	56
遠隔保守支援機能に関する操作.....	57
遠隔保守支援機能の開始・終了.....	57
設定内容に関する操作.....	59
設定情報の初期化.....	59
設定情報の適用.....	61
設定情報の再適用.....	63
設定情報の保存.....	65

運用中の設定情報の適用	67
タスクトレースに関する操作	69
タスクトレース情報の初期化	69

装置に関する操作

基本設定モードへ移行

```
configure terminal
```

基本設定モードへ移行します。

表示画面例

```
Router#configure terminal
Router(config)#
```

コマンド書式

```
configure terminal
```

パラメータ

パラメータはありません。

ログイン ID の設定

login

ログイン ID を設定します。

表示画面例

```
Router# login furukawa
Router#
```

コマンド書式

login <ログイン ID>

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
ログイン ID	ftp、web、telnet、コンソールにログインする際のログイン ID を設定します。	31 文字以内の文字列	省略不可

この設定を行わない場合

ログイン ID は以下の通りになります。

ftp、web: root

telnet、コンソール : なし

パスワードの設定

password

パスワードを設定します。

表示画面例

```
Router#password enable
Enter now password:
Enter new password:
Retype new password:

Router#
```

コマンド書式

```
password {login | enable}
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時	
login enable	パスワードを設定します。	login	ログインパスワードを設定します。 16文字以内の文字列	省略不可
		enable	特権ユーザモードへ移行するパスワードを設定します。 16文字以内の文字列	

トレースルートの取得

trace

トレースルートを実行します。

表示画面例

```
Router#trace 192.168.10.1
Router#
```

コマンド書式

```
trace [ip] <IP アドレス> [-n] [ttl <2-255>] [port <1-64771>]
trace ipv6 <IPv6 アドレス> [-n] [ttl <2-255>] [port <1-64771>]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時
[ip] <IP アドレス> ipv6 <IPv6 アドレス> [-n] [ttl <2-255>] [port <1-64771>]	トレースルートを実行します。	[ip] <IP アドレス>	IPv4 形式で指定します。	省略不可
		ipv6 <IPv6 アドレス>	IPv6 形式で指定します。	
		[-n]	リゾルバを使用しません。	
		[ttl <2-255>]	TTL 値を 2～255 で指定します。	
		[port <1-64771>]	ポート番号を 1～64771 で指定します。	

ping の実行

ping

ping を実行します。

表示画面例

```
Router> ping 192.168.10.1
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 192.168.10.1, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 10/16/20 ms
Router>
```

コマンド書式

```
ping { [ip] | ipv6 } <宛先アドレス> [source-interface lan 1]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
[ip] ipv6	IPv4 の ping か、IPv6 の ping かを指定します。	ip もしくは ipv6	IPv4
<宛先アドレス>	宛先のアドレスを指定します。IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレスを指定します。	IP アドレス形式 もしくは IPv6 アドレス形式	省略不可
source-interface lan 1	ping の送信元アドレスに LAN の IP アドレスを使用する場合に指定します。	source-interface lan 1	宛先に対する最適インタフェースのアドレス

拡張 ping

ping

ping を範囲を指定して実行します。会話型になります。

表示画面例

```
#ping
Protocol [ip|ipv6]:
Target IP address or hostname: xxx.xxx.xxx.xxx
Repeat count [5]:
Datagram size [100]:
Timeout in seconds [2]:
Extended commands [n]:
Sweep range of sizes [n]:
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to xxx.xxx.xxx.xxx, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 10/18/40 ms
#
```

コマンド書式

ping

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時 (Enter のみ 入力した場 合)
ip ipv6	ipv4、ipv6 を選択します。	ip または、ipv6 から 選択します。	IPv4
Target IP address or hostname	送信先アドレスを指定し ます。	ip、ipv6 形式で指定 します。	省略不可
Repeat count	送信回数を指定します。	1 ~ 2147483647	5 回
Datagram size	データサイズを指定しま す。	36 ~ 18024	100byte
Timeout in seconds	タイムアウト時間を指定 します。	2 ~ 3600	2 秒

Source address	送信元 IP アドレスもしくはインタフェース	IP アドレス形式もしくはインタフェース形式で指定します。	省略不可
UDP protocol	UDP を使用するかどうか	y or n	n (ICMP)
Type of service	TOS 値を指定します。	0 ~ 255	0
Set DF bit int IP header	DF (Don't Fragment) ビットを指定するかどうかを選択します。	yes or no	no
Validate reply data	応答データの検証を行うかどうかを指定します。	yes or no	no
Data pattern	データパターンを指定します。	0x0000 ~ 0xffff.	0xabcd
LSRR/SSRR/Timestamp/Record/Verbose	Loose, Strict, Record, Timestamp, Verbose から選択します。	L,S,R,T,V	none
Sweep range of sizes	データ長を可変させるかどうかを選択します。 1	y or n	n
Sweep min size	最小データ長を指定します。	最小値 36	36byte
Sweep max size	最大データ長を指定します。	最大値 18024	8156byte
Sweep interval	データ長増加間隔	-	1byte ずつ増加

データ長可変とした場合、上で設定したデータサイズの内容は無効になり、(最小データ ~ 最大データ) × 送信回数分だけ ping を行います。

装置の日付時刻の設定

calendar set

本装置の現在日付、時刻を設定します。

月の設定には以下の省略文字を使用します。

1月：Jan, 2月：Feb, 3月：Mar, 4月：Apr, 5月：May, 6月：Jun

7月：Jul, 8月：Aug, 9月：Sep, 10月：Oct, 11月：Nov, 12月：Dec

表示画面例

```
Router# calendar set 17:00:00 17 Jun 2003
Router#
```

コマンド書式

```
calendar set <hh:mm:ss> { <1-31> <month> | <month> <1-31> } <2000-2050>
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<hh:mm:ss> { <1-31> <month> <month> <1-31> } <2000-2050>	本装置の現在日付、時刻を指定 します。	hh:mm:ss	時：分：秒を 設定します。
		<1-31> <month> <month> <1-31>	日、月を設定 します。
		<2000-2050>	西暦を設定し ます。
			省略不可

タイムサーバ接続による時刻設定

synclock

指定したタイムサーバへ接続して、本装置の時刻を設定します。

表示画面例

```
Router#synclock 192.168.10.5
Router#
```

コマンド書式

synclock [<IP アドレス>]

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<IP アドレス>	タイムサーバのアドレスを指定します。	<IP アドレス> IPv4 アドレス形式	省略不可

telnet の実行

telnet

指定した端末に telnet でログインすることができます。

表示画面例

```
Router#telnet *.*.*.*.*.*.*.*.*.*
Trying... (*.*.*.*.*.*.*.*.*.*)
Connected to (*.*.*.*.*.*.*.*.*.*).
Escape character is '^'.
```

コマンド書式

```
telnet {<IP アドレス>|<IPv6 アドレス>} [-p <1-65535>] [-s <IP アドレス>|<IPv6 アドレス>]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
-p <1-65535>	TCP ッダ内の destination port を指定して telnet 行ないます。	1 ~ 65535	23
-s	TCP ッダ内の source address を指定して telnet を行ないます。 アドレスは、UP しているインタフェースに設定されているものに限りま	IPv4 または IPv6 アドレス形式	パケットを実際に送信するインタフェースの IP アドレスになります。

装置の再起動

reset

装置を再起動します。

表示画面例

```
Router#reset
Router#
```

コマンド書式

```
reset
reset in [<0-24>:]<0-59>
reset at <0-24>:<0-59> <1-31> <month> <2000-2035>
[SIDE-A.frm|SIDE-B.frm][SIDE-A.cfg|SIDE-B.cfg]
reset default
reset cancel
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時
in [<0-24>:]<0-59> at <0-24>:<0-59> <1-31> <month> <2000-2035> [SIDE-A.frm SIDE-B.frm] [SIDE-A.cfg SIDE-B.cfg] reset default reset cancel	装置を再起動します。	in [<0-24>:]<0-59>	指定時間経過後に再起動します。	即時に再起動します。
		at <0-24>:<0-59> <1-31> <month> <2000-2035> [SIDE-A.frm SIDE-B.frm] [SIDE-A.cfg SIDE-B.cfg]	指定日時に再起動します。	

		default	設定情報を工場出荷状態に戻して再起動します。	
		cancel	at、inで指定したパラメータを破棄します。	

インタフェースに関する操作

PPPoE の手動接続

connect

PPPoE を手動接続します。

表示画面例

```
Router#connect acname1
Router#
```

コマンド書式

connect <target>

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<target>	接続相手名称を指定します。	<target> 127 文字以内の文字列	省略不可

PPPoE の手動切断

disconnect

PPPoE を手動切断します。

表示画面例

```
Router#disconnect acname1
Router#
```

コマンド書式

disconnect <target>

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<target>	切断相手名称を指定します。	<target> 127 文字以内の文字列	省略不可

IPv6 ルーティングに関する操作

IPv6 近隣情報の初期化

clear ipv6 neighbors

IPv6 ネイバ・キャッシュ情報の削除を行います。

表示画面例

```
Router#clear ipv6 neighbors
Router#
```

コマンド書式

```
clear ipv6 neighbors
```

パラメータ

パラメータはありません。

IPv6 統計情報の初期化

clear ipv6 traffic

IPv6 パケットの統計情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear ipv6 traffic
Router#
```

コマンド書式

```
clear ipv6 traffic
```

パラメータ

パラメータはありません。

IPv6 プレフィックスリストに関する情報の初期化

clear ipv6 prefix-list

IPv6 プレフィックスリストに関する情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear ipv6 prefix-list
Router#
```

コマンド書式

```
clear ipv6 prefix-list [<1-99>]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時の値
<1-99>	初期化するプレフィックスリストの番号を選択します。	1 ~ 99	全て初期化

IPv6 学習フィルタリング情報の初期化

```
clear ipv6 stateful-packet
```

IPv6 学習フィルタリング情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear ipv6 stateful-packet all
Router#
```

コマンド書式

```
clear ipv6 stateful-packet {all | non-established}
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時の値
all non-established	IPv6 学習フィルタリング 情報の初期化を行います。	all	全エントリ削除	省略不可
		non-established	確立されていない TCP エントリの削 除	

IPv4 ルーティングに関する操作

BGP セッションの初期化

```
clear ip bgp
```

BGP のセッション情報を初期化します。

表示画面例

```
Router#clear ip bgp 192.168.4.250
Router#
```

コマンド書式

```
clear ip bgp {*|<1-65535>|<ip-address>} [soft] [in|out]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時						
* <1-65535> <ip-address>	初期化する BGP セッションを指定します。	<table border="1"> <tr> <td>*</td> <td>全てのセッション</td> </tr> <tr> <td><1-65535></td> <td>1 ~ 65535 の AS 番号</td> </tr> <tr> <td><ip-address></td> <td>指定したネイバーのみ初期化</td> </tr> </table>	*	全てのセッション	<1-65535>	1 ~ 65535 の AS 番号	<ip-address>	指定したネイバーのみ初期化	省略不可
*	全てのセッション								
<1-65535>	1 ~ 65535 の AS 番号								
<ip-address>	指定したネイバーのみ初期化								
[soft]	BGP セッションを切断することなく経路情報の再配布を行います。	-	BGP セッションを切断して、再度						

			接続しな おしま す。				
[in out]	BGP セッションを切断することなく 経路情報の再配布を入出力方向を指 定して行います。	<table border="1"> <tr> <td>in</td> <td>入力方向で指 定します。</td> </tr> <tr> <td>out</td> <td>出力方向で指 定します。</td> </tr> </table>	in	入力方向で指 定します。	out	出力方向で指 定します。	入出力方 向両方と もに実行 します。
in	入力方向で指 定します。						
out	出力方向で指 定します。						

BGP における redistribute の初期化

clear ip bgp redistribute

redistribute に設定されているプロトコルの経路情報を送信し直します。
既に、BGP で通知した情報を変更した場合に、本コマンドを利用して再通知することができます。

表示画面例

```
Router#clear ip bgp redistribute *
Router#
```

コマンド書式

```
clear ip bgp redistribute {* | kernel | connected | static | rip | sa-up | local-prot1
| local-prot2}
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時の値									
* kernel connected static bgp sa-up local-prot1 local-prot2	redistribute ルートの再登録を行うポートを指定します。	<table border="1"> <tr> <td>*</td> <td>経路情報を再通知します。</td> </tr> <tr> <td>kernel</td> <td rowspan="6">指定した手段で取得した経路情報を再通知します。</td> </tr> <tr> <td>connected</td> </tr> <tr> <td>static</td> </tr> <tr> <td>rip</td> </tr> <tr> <td>sa-up</td> </tr> <tr> <td>local-prot1 local-prot2</td> </tr> </table>	*	経路情報を再通知します。	kernel	指定した手段で取得した経路情報を再通知します。	connected	static	rip	sa-up	local-prot1 local-prot2	省略不可
*	経路情報を再通知します。											
kernel	指定した手段で取得した経路情報を再通知します。											
connected												
static												
rip												
sa-up												
local-prot1 local-prot2												

RIP における redistribute の初期化

clear ip rip redistribute

redistribute に設定されているプロトコルの経路情報を送信し直します。
本コマンドを利用すると、経路情報を即座に通知することができます。

表示画面例

```
Router#clear ip rip redistribute *
Router#
```

コマンド書式

```
clear ip rip redistribute {* | kernel | connected | static | bgp | sa-up | local-prot1
| local-prot2}
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時の値
* kernel connected static bgp sa-up local-prot1 local-prot2	redistribute ルートの再登 録を行うポー トを指定しま す。	*	経路情報を再通知します。	省略不可
		kernel	指定した手段で取得した経路情報を再通 知します。	
		connected		
		static		
		bgp		
		sa-up		
		local-prot1		
		local-prot2		

DNS（キャッシュ）情報の初期化

```
clear ip resolver-cache
```

DNS キャッシュデータを削除します。

表示画面例

```
Router#clear ip resolver-cache
Router#
```

コマンド書式

```
clear ip resolver-cache
```

パラメータ

パラメータはありません。

IP 統計情報の初期化

clear ip traffic

IPv4 パケットに関する統計情報を削除します。

表示画面例

```
Router#clear ip traffic
Router#
```

コマンド書式

```
clear ip traffic
```

パラメータ

パラメータはありません。

IPv4 学習フィルタリング情報の初期化

clear ip stateful-packet

IPv4 学習フィルタリング情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear ip stateful-packet all
Router#
```

コマンド書式

```
clear ip stateful-packet {all | non-established}
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時の値
all non-established	IPv4 学習フィルタリング情報の初期化を行います。	all	全エントリ削除	省略不可
		non-established	確立されていないTCPエントリの削除	

学習した IP アドレスの初期化

clear proxydns-cache

学習した IP アドレスの初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear proxydns-cache
Router#
```

コマンド書式

```
clear proxydns-cache
```

パラメータ

パラメータはありません。

IPsec に関する操作

IKESA の解放

clear crypto isakmp

現在確立している IKE コネクションを初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear crypto isakmp
Router#
```

コマンド書式

```
clear crypto isakmp [<sa-id>]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<sa-id>	装置内部で割り振った SA 識別子を指定します。	1 ~ 32	全ての IKE コネクションを初期化します。

IPsecSA の解放

clear crypto sa

IPsecSA の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear crypto sa address 192.168.0.1
Router#
```

コマンド書式

```
clear crypto sa [<sa-id> | address <ip アドレス>| host <hostname>]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時
<sa-id> address <ip アドレス> host <hostname>	初期化する IPsecSA を指定します。	<sa-id>	1 ~ 192	全ての IPsecSA を初期化します。
		address <ip アドレス>	IPv4 アドレス形式	
		host <hostname>	ホスト名	

VPN ログ情報の初期化

clear vpnlog

VPN ログ情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear vpnlog
Router#
```

コマンド書式

```
clear vpnlog
```

パラメータ

パラメータはありません。

VPN 統計情報の初期化

clear vpnstat

VPN 統計情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear vpnstat
Router#
```

コマンド書式

```
clear vpnstat
```

パラメータ

パラメータはありません。

鍵ペアの生成

generate key

公開鍵のサイズを指定し、鍵ペアを作成します。
また、鍵ペア作成後に装置を再起動する必要がありますので注意してください。

表示画面例

```
Router#generate key
Finally re-starting of equipment is required for this command.
May I continue as it is [ yes/no] ?:<コマンド実行の確認>
Choose the size of the key modulus in the range of 512 to 2048
for your Signature Keys.
How many bits in the modulus [ 1024] ?:<鍵サイズ>
Generating RSA keys ...[ OK] .
Are you OK to cold start ?[ yes/no] :<再起動の選択>
```

コマンド書式

```
generate key
```

パラメータ

パラメータはありません。

自身の証明書のリクエストのメッセージの作成

generate certificate-request

自身の証明書のリクエストメッセージを作成します。
また、作成したリクエストメッセージを PEM フォーマットで表示します。

表示画面例

```
Router#generate certificate-request
Input,when you register a common name,organization name and country
name into
a certificate request message.
Common Name (Max 64 characters):<一般名を設定>
Organization Name (Max 64 characters):<組織名を設定>
Country Name [ jp ] :<国名:デフォルトは日本`jp`>
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIIBLzCB2gIBADAlMQswCQYDVQQGEwJqcDEKMAgGA1UEChMBYjEKMAgGA1UEAxMB
YTBZMA0GCSqGSIb3DQEBAQUAA0gAMEUCQH0sNHNDrn/RA10/g5Qr8cumJDyEyjRS
t/rGMHYymf2VucPzG3Ck2X7m+8YtEe0SOSSjZg6pJte4TxAiSuuDigECASWgUzBR
BgkqhkiG9w0BCQ4xRDBCMAsgA1UdDwQEAwIFoDAzBgNVHREELDAqhwTANIpYgRjM
NDZAZnVydWthd2EuY28uanCCDmZ1cnVrYXdhLmNvLmpwMA0GCSqGSIb3DQEBBQUA
A0EAAMQWfBHISpHQJnDI8KEMc9o65HqsI6qzU1o2oboiMqrZdNvOfkz3bqrnPa60
ANqx9hpEZuz/gsojQPixHteZQ==
-----END CERTIFICATE REQUEST-----
Router#
```

コマンド書式

```
generate certificate-request
```

パラメータ

パラメータはありません。

Is the following certificate added ?[yes/no]: <次の証明書を登録するかの確認>

コマンド書式

```
set crypto ca certificate<certificate-name> [root ]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時の値
certificate-name	登録する際に、取得した電子証明書に任意の名前を設定します。	64 文字の英数字	省略不可
root	Root CA の証明書を追加することを意味します。	-	省略不可

注意事項

- ・自装置に電子証明書を登録する場合は、"no more" コマンドで more off にしてください。
に挿入されてしまい、証明書データが正しく登録されません。
- ・ターミナルソフトウェアなどで、シリアルポートを使用して FTELnet-F120 と接続してお使いの場合、
ターミナルソフトウェアの環境設定で「送信遅延」を設定していると証明書データが正しく登録され
ない場合があります。
このような場合は、「送信遅延」を行わない設定で使用して下さい。

電子証明書の削除

clear crypto ca certificate

保存してある電子証明書を削除します。

表示画面例

```
Router#clear crypto ca certificate
All certificate data was cleared.
Router#
```

コマンド書式

```
clear crypto ca certificate [ <certificate-name> ]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<certificate-name>	削除する電子証明書を指定します。	電子証明書の名前	保存してある全ての電子証明書を削除します。

UPnP に関する操作

イベント受信情報の初期化

```
clear upnp subscribers
```

UPnP 機能のイベント受信者情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear upnp subscribers
```

コマンド書式

```
clear upnp subscribers
```

パラメータ

パラメータはありません。

ポートマッピングの初期化

clear upnp port-mapping

UPnP 機能により設定されているポートマッピングを、全て初期化します。

表示画面例

```
Router#clear upnp port-mapping
```

コマンド書式

```
clear upnp port-mapping
```

パラメータ

パラメータはありません。

モバイルに関する操作

接続相手装置に発呼する

call

指定した dialer、電話番号へ発呼します。

表示画面例

```
Router#call mobile 1 99*24# au@au-win.ne.jp au
Router#
```

コマンド書式

```
call {mobile 1} <dial-string> [<name> <password>] call dialer <1~4>
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
mobile 1	発呼するインタフェースを指定します。	mobile 1 モバイル回線を指定します	省略不可
<dial-string> [<name> <password>]	発呼先の電話番号を指定します。	10桁の数数字/記号 オプションとしてユーザ ID、パスワードを指定することもできます。	省略不可
dialer <1~4>	指定した dialer に発呼します。	1~4	省略不可

接続している相手装置の切断

disconnect

接続している回線を手動切断します。

表示画面例

```
Router#disconnect acname1
Router#
```

コマンド書式

disconnect [<targetname> | mobile 1]

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<targetname> mobile 1	接続している回線を切断します。	<targetname>	PPPoE を切断します。 127 文字以内の文字列
		mobile 1	モバイルを切断します。
			全ての回線を切断します。

ダイヤラ連続接続リミッタの初期化

clear forced disconnect time

dialer の連続接続リミッタ機能が監視している接続時間を初期化します。
また、リミッタ作動時の解除も兼ねています。

表示画面例

```
Router# clear forced disconnect time dialer 1
Router#
```

コマンド書式

```
clear forced disconnect time dialer <1~20>
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
dialer <1~4>	指定した dialer の監視している接続時間を初期化します。	1~4	省略不可

発呼回数カウンタの初期化

clear max-call

発呼制限機能が監視している発呼回数カウンタを初期化します。
また、リミッタ作動時の解除も兼ねています。

表示画面例

```
Router# clear max-call dialer 1
Router#
```

コマンド書式

```
clear max-call dialer <1~20>
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
dialer <1~4>	指定した dialer の監視している発呼回数を初期化します。	1~4	省略不可

パケット数リミッタの解除

clear forced disconnect packet

パケット数リミッタの作動を解除します。パケット数リミッタは、このコマンドで解除するか、装置を再起動しない限り、解除されません。

表示画面例

```
Router# clear forced disconnect packet mobile 1
Router#
```

コマンド書式

```
clear forced disconnect packet mobile 1
```

パラメータ

パラメータはありません。

障害監視／通知機能に関する操作

軽度障害情報の初期化

clear elog

軽度障害情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear elog
Router#
```

コマンド書式

clear elog

パラメータ

パラメータはありません。

重度障害情報の初期化

clear tlog

重度障害情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear tlog
Router#
```

コマンド書式

```
clear tlog
```

パラメータ

パラメータはありません。

環境障害情報の初期化

clear slog

環境障害情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear slog
Router#
```

コマンド書式

```
clear slog
```

パラメータ

パラメータはありません。

フィルタリング情報の初期化

clear flog

フィルタリングログ情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear flog
Router#
```

コマンド書式

```
clear flog
```

パラメータ

パラメータはありません。

フィルタリングカウンタの初期化

clear access-lists statistics

アクセスリストの統計情報を削除します。

IF 指定の時は、該当するアクセスリストを、指定が無いときは全ての統計情報を削除します。

表示画面例

```
Router#clear access-lists statistics
Router#
```

コマンド書式

```
clear access-lists statistics
```

```
clear access-lists statistics [1-3999]
```

```
clear access-lists statistics [lan 1 | ewan <n> | pppoe <n> | dialer <n>]
```

パラメータ

パラメータはありません。

不正アクセスに関する情報の初期化

clear remote-access

不正アクセスに関する情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear remote-access 192.168.0.1
Router#
```

コマンド書式

```
clear remote-access [ <IP アドレス> ]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
<IP アドレス>	アクセス拒否端末を指定します。	IPv4 アドレス形式	全てのエントリを初期化します

SSH サーバ機能に関する操作

ホスト固有鍵の生成

generate key ssh

SSH サーバ機能を有効にする前に、generate key ssh コマンドにより、ホスト固有鍵を生成しなければなりません。

生成する鍵の bit 数は、512bit から 2048bit までの間で指定します。

既にホスト固有鍵が登録されている状態で、再度 generate key ssh コマンドを実行すると、"Requested key already exist." と表示され、鍵生成を中止します。

表示画面例

```
Router#generate key ssh bits 1024
Generating keys...Done.
Router#
```

コマンド書式

```
generate key ssh [bits <512-2048>]
```

注意

SSH クライアントには、アクセスする SSH サーバのホスト固有鍵が、以前に接続した際のものとは異なる場合、アクセスを中止するものがあります。

ホスト固有鍵を生成しなおす場合には、注意してください。

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時の値
bits	鍵長を表します。	<512-2048>	1024

自身の固有鍵の削除

clear crypto key ssh

clear crypto key ssh コマンドの実行により、ホスト固有鍵を削除します。
ホスト固有鍵を削除した時点で、SSH サーバ機能は無効になります。
ただし、鍵の削除以前に確立した使用中のセッションについては切断しません

表示画面例

```
Router#clear crypto key ssh
[OK]
Router#
```

コマンド書式

```
clear crypto key ssh
```

パラメータ

パラメータはありません。

遠隔保守支援機能に関する操作

遠隔保守支援機能の開始・終了

remote-maintenance ssh

インターネット側からのリモートメンテナンス（遠隔保守）を行うために、フィルタリング設定 / IPsec 設定等、SSH サーバへのアクセスを妨げる可能性がある動作を一時的に抑止し、SSH のアクセスを無条件に許可します。SSH サーバ機能と連携して、インターネット側から保守を行う際に指定します。

操作画面例 遠隔保守支援機能を開始する

```
Router#remote-maintenance ssh enable
Are you OK to enable SSH remote-maintenance, which allows unlimited
SSH server access for 10 minutes.(y/n)y
```

操作画面例 遠隔保守支援機能を終了する

```
Router#remote-maintenance ssh disable
Are you OK to enable SSH remote-maintenance, which allows unlimited
SSH server access for 10 minutes.(y/n)y
```

コマンド書式

```
remote-maintenance ssh enable [duration <1-30>]
```

```
remote-maintenance ssh disable
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時の値
duration	遠隔保守支援機能を動作させる時間（単位：分）を指定します。 ここで指定した時間、インターネット側からの SSH のアクセスを許可します。	1-30	10 分

注意

遠隔保守支援機能の動作中は、インターネット側からの SSH のアクセスを無条件に許可する状態となります。

実際の設定とは異なる動作となりますので、注意してください。

また、SSH サーバにアクセスしている状態で遠隔保守支援機能の動作期間が終了すると、設定内容やアクセス方法によっては SSH セッションが不通になる場合もありますので、注意して下さい。遠隔保守支援機能の動作期間中に再度遠隔保守遅延機能を有効にするコマンドを実行すると、動作期間がコマンド実行時の時間に更新されます。

設定内容に関する操作

設定情報の初期化

clear working.cfg

設定情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear working.cfg
Router#
```

コマンド書式

```
clear working.cfg
```

パラメータ

パラメータはありません。

設定情報について

FITELnet-F120 の設定情報の呼び方には、使用される状態により以下の 3 種類があります。

running.cfg	現在動作中の設定情報
working.cfg	編集中の設定情報
boot.cfg	次回起動時の設定情報

また、FITELnet-F120 では、SIDE-A.cfg / SIDE-B.cfg という名称で、2 種類の設定情報を保存することができます。

これらの設定情報の関係図は、以下のようになります。（各設定情報間の文字（"save"等）は、コマンド名です。）

設定情報の適用

load

設定情報を working.cfg へ読み込みます。

表示画面例

```
Router#load SIDE-A.cfg
```

```
Router#
```

コマンド書式

```
load {SIDE-A.cfg|SIDE-B.cfg|default.cfg}
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時
SIDE-A.cfg SIDE-B.cfg default.cfg	設定情報の読み込み先を指定します。	SIDE-A.cfg	SIDE-A.cfg を読み込みます	boot コマンドで指定した設定情報を読み込みます。
		SIDE-B.cfg	SIDE-B.cfg を読み込みます	
		default.cfg	default.cfg (工場出荷状態)を読み込みます。	

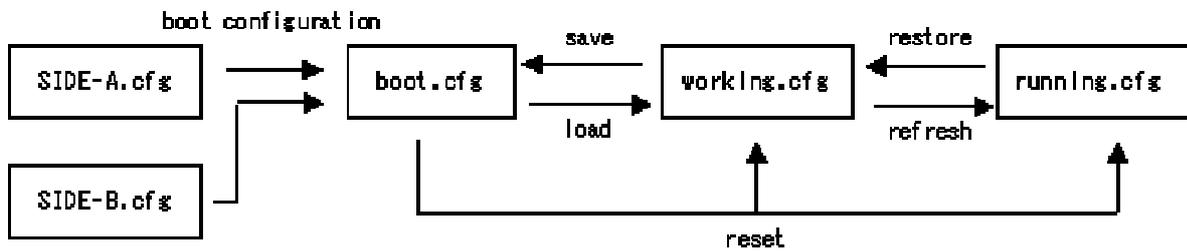
設定情報について

F1TELnet-F120 の設定情報の呼び方には、使用される状態により以下の 3 種類があります。

running.cfg	現在動作中の設定情報
working.cfg	編集中の設定情報
boot.cfg	次回起動時の設定情報

また、F1TELnet-F120 では、SIDE-A.cfg / SIDE-B.cfg という名称で、2 種類の設定情報を保存することができます。

これらの設定情報の関係図は、以下のようになります。(各設定情報間の文字 ("save" 等) は、コマンド名です。)



設定情報の再適用

refresh

編集した設定情報を適用します。

表示画面例

```
Router#refresh
Router#
```

コマンド書式

```
refresh [at <0-24>:<0-59> <1-31> <month> | cancel | in [<0-24>:] <0-59>]]
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲		省略時
at <0-24>:<0-59> <1-31> <month> cancel in [<0-24>:] <0-59>]	編集した設定情報を適用しま す。	at <0-24>:<0-59> <1-31> <month>	指定日時に 適用します。	即時に適用し ます。
		cancel	at、inで指 定したパラ メータを破 棄します。	
		in [<0-24>:] <0-59>	指定時間経 過後に適用 します。	

注意事項

設定変更を複数行った場合、そのうちの1つでも reset が必要なケースが含まれている時は、refresh コマンドを実行しても設定が有効になりません。

設定を有効にするには、設定情報を保存 (save) 後に装置の reset が必要です。

refresh コマンドのみで設定が有効になるケース

全てのコマンドが refresh 対応コマンドの場合

reset コマンドを実行することで設定が有効になるケース

1つでも、reset が必要なコマンドが含まれている場合

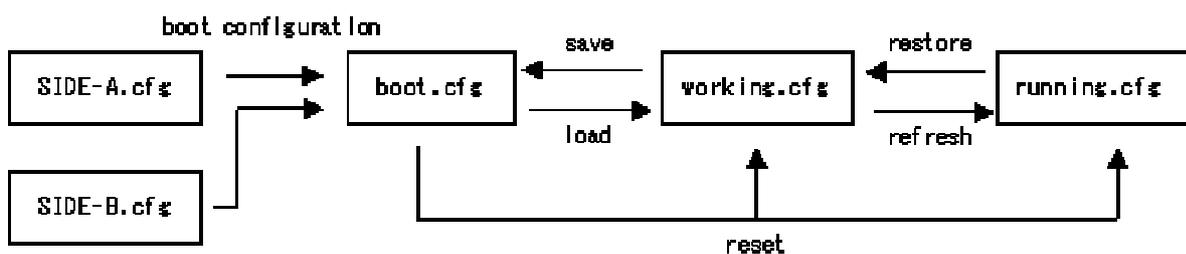
設定情報について

F1TELnet-F120 の設定情報の呼び方には、使用される状態により以下の3種類があります。

running.cfg	現在動作中の設定情報
working.cfg	編集中の設定情報
boot.cfg	次回起動時の設定情報

また、F1TELnet-F120 では、SIDE-A.cfg / SIDE-B.cfg という名称で、2種類の設定情報を保存することができます。

これらの設定情報の関係図は、以下のようになります。(各設定情報間の文字 ("save"等) は、コマンド名です。)



設定情報の保存

save

設定情報を保存します。

表示画面例

```
Router#save SIDE-A.cfg
Router#
```

コマンド書式

```
save {SIDE-A.cfg|SIDE-B.cfg}
```

パラメータ

パラメータ	設定内容	設定範囲	省略時
SIDE-A.cfg SIDE-B.cfg	設定情報を保存します。	SIDE-A.cfg	SIDE-A.cfg に保存しま す。
		SIDE-B.cfg	SIDE-B.cfg に保存しま す。
			省略不可

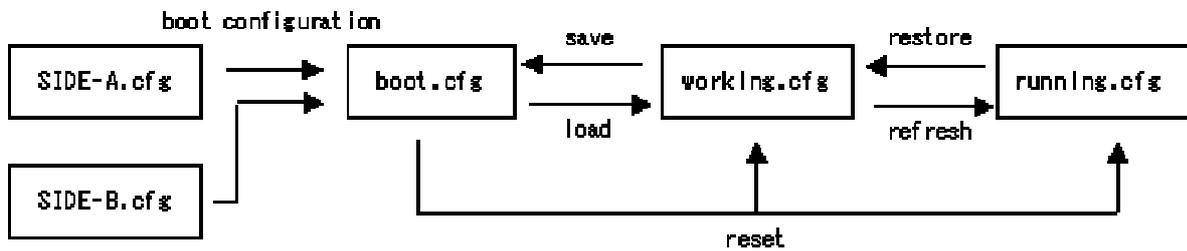
設定情報について

F1TELnet-F120 の設定情報の呼び方には、使用される状態により以下の 3 種類があります。

running.cfg	現在動作中の設定情報
working.cfg	編集中の設定情報
boot.cfg	次回起動時の設定情報

また、F1TELnet-F120 では、SIDE-A.cfg / SIDE-B.cfg という名称で、2 種類の設定情報を保存することができます。

これらの設定情報の関係図は、以下のようになります。(各設定情報間の文字 ("save" 等) は、コマンド名です。)



運用中の設定情報の適用

restore

運用中の設定情報を適用します。

表示画面例

```
Router#restore
Router#
```

コマンド書式

restore

パラメータ

パラメータはありません。

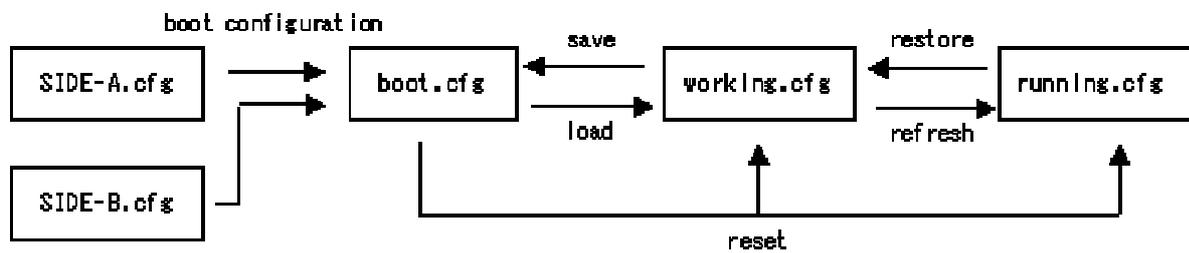
設定情報について

F1TELnet-F120 の設定情報の呼び方には、使用される状態により以下の 3 種類があります。

running.cfg	現在動作中の設定情報
working.cfg	編集中の設定情報
boot.cfg	次回起動時の設定情報

また、F1TELnet-F120 では、SIDE-A.cfg / SIDE-B.cfg という名称で、2 種類の設定情報を保存することができます。

これらの設定情報の関係図は、以下のようになります。（各設定情報間の文字（"save"等）は、コマンド名です。）



タスクトレースに関する操作

タスクトレース情報の初期化

```
clear ttrlog
```

タスクトレース情報の初期化を行います。

表示画面例

```
Router#clear ttrlog
Router#
```

コマンド書式

```
clear ttrlog
```

パラメータ

パラメータはありません。

C

calendar set	12
call	43
clear access-lists statistics	52
clear crypto ca certificate	40
clear crypto isakmp	31
clear crypto key ssh	56
clear crypto sa	32
clear elog	48
clear flog	51
clear forced disconnect packet	47
clear forced disconnect time	45
clear ip bgp	23
clear ip bgp redistribute	25
clear ip resolver-cache	27
clear ip rip redistribute	26
clear ip stateful-packet	29
clear ip traffic	28
clear ipv6 neighbors	19
clear ipv6 prefix-list	21
clear ipv6 stateful-packet	22
clear ipv6 traffic	20
clear max-call	46
clear proxydns-cache	30
clear remote-access	53
clear slog	50
clear tlog	49
clear ttrlog	69
clear upnp port-mapping	42
clear upnp subscribers	41
clear vpnlog	33
clear vpnstat	34

clear working.cfg	59
configure terminal	5
connect	17

D

disconnect	18, 44
------------	--------

G

generate certificate-request	36
generate key	35
generate key ssh	54

L

load	61
login	6

P

password	7
ping	9, 10

R

refresh	63
remote-maintenance ssh	57
reset	15
restore	67

S

save	65
set crypto ca certificate	37
synclock	13

T

telnet	14
trace	8

- 本書は改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利について、弊社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

発行責任：古河電気工業株式会社
130-B0401-AH01
2005.1